

患者様とご家族の方へのお知らせ

「進行再発消化器がんの免疫チェックポイント阻害剤治療における早期栄養療法の
前向きコホート研究」へご参加頂いた患者様へ

兵庫県立がんセンター 消化器内科 武川直樹

○画像検査、組織標本、血液検体の二次利用についてのお知らせとお願い

本試験では診断時に用いられた画像検査、腫瘍組織、試験参加時に採取させて頂いた血液検体を用いて新たな解析を行い、そのデータを今回の研究で活用できるようにしたいと考えています。

具体的には治療開始時に撮影された画像検査を用いて筋肉量を測定し、治療効果との関連を検討します。また腫瘍組織からマイクロサテライト領域不安定性検査、血液検体から栄養に関する因子を測定し治療効果との関連を検討します。筋肉量の多い方、高頻度マイクロサテライト領域不安定性がある方、EBウィルス関連胃癌の患者様は免疫チェックポイント阻害剤の効果が出やすいことが過去の研究より報告されております。血液検体の解析は京都大学大学院医学研究科附属 がん免疫総合研究センターにて行います。

なお、今回の追加検査によって、患者さんの治療方針が変更となったり、新たな受診や検査などの患者さんに対する新たな負担は生じません。患者さんの試料および診療情報は匿名化したうえで管理しますので、患者さんのプライバシーは厳密に守られます。この研究については、特定の企業などからの資金の供与などは無く、利益相反はありません。

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がある場合や、研究への情報の利用を拒否する場合には、下記の連絡先までお問い合わせください。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますことを予めご了承ください。なお、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

この研究の事務局・連絡窓口

武川 直樹

兵庫県立がんセンター 消化器内科

〒673-8558 兵庫県明石市北王子町 13-70

TEL：078-929-1151

作成日：2024年6月5日 第1.0版